

スマートシティ官民連携プラットフォームの設置について



令和元年6月

内閣府特命担当大臣（科学技術政策）平井卓也

スマートシティ官民連携プラットフォームの設置について

スマートシティの取組を官民連携で加速するため、関係府省、自治体及び企業・研究機関等を会員とする「スマートシティ官民連携プラットフォーム」を設置。

6月4日開催の「スマートシティ推進フォーラム」において、設置する旨を表明。

内閣府、総務省、国交省の各事業における支援対象自治体の選定後できるだけ速やかに発足（3府省合同で公表）。

経団連及び3府省が主催。スマートシティの推進を目指す全国の70余りのコンソーシアム（自治体・企業等の連合）が参加。先行モデルプロジェクトや政府の取組等の情報を交換。

スマートシティ官民連携プラットフォームの概要

事務局：内閣府、総務省、国土交通省の3府省

会員：国交省、総務省事業の一定レベル以上の提案団体が参加

取組内容：①モデル事業等の効果的な推進

- ・各府省のモデル事業等ができるだけ一体的・統合的に実施されるよう、運用上の調整等を実施。
- ・政府の自治体、企業等向けの窓口は、本プラットフォームの事務局(3府省)に一元化。

自治体・企業・研究機関等とのマッチングの支援

分科会開催

普及促進活動

例：マッチング支援等を効果的に推進するため、共通ポータルサイトの構築等